

# 平成 28 年度 特別養護老人ホーム うさみの園 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

平成 28 年度事業計画に沿い、介護項目毎の施設マニュアルの見直しを行った。また、各委員会では施設における現状の問題点等の把握及び、早期改善を実践することにより、利用者様個々に応じた高品質な個別的対応ケアの実現を目指した。

非常災害対策についても水害・土砂災害を含めた非常災害計画の策定及び避難訓練を実施し、より実践的な訓練を行うことにより、非常災害に対する職員の意識改革を図った。

運営面では、特別養護老人ホームにおいての入居者の重度化がもたらす影響が顕著に現れた。

入所指針により新規入所者は、特段の事情がない限り入所必要性の高い重度の方から受け入れることとなるが、重度ゆえの長期入院や退所者の発生数が高まり、それにともない空床の発生する頻度も増加した。平成28年度の総在所者数は31,944名、年間平均稼働率は97.2%となり、可能な限り空床率の減少に努めた。

## 2. 事業計画実施状況

### (1) 施設サービスの質の確保・向上

#### ① 施設マニュアルの見直し

平成 27 年度から実施している施設マニュアルの見直しが、本年度完成した。各委員会を通してユニットにマニュアルを配布し、マニュアルを基本とする画一化したサービスを実施するよう、業務改善の徹底を行った。

#### ② 個別機能訓練

- ・ 看護職員が機能訓練指導員となり、看護職員・施設ケアマネジャー・生活相談員の協力のもと、個別機能訓練計画書の作成・見直しを行い、計画に沿った機能訓練を実施した。
- ・ 9月より看護職員の人員不足により個別機能訓練の継続が困難となるが、平成 29 年度 4 月 1 日より個別機能訓練を再開する。

## (2) 事故防止・身体拘束廃止に向けた取り組み

- ・ 毎月開催のリスクマネジメント委員会及び施設内部研修において、改正した「事故防止マニュアル」「服薬マニュアル」を用いて事故防止に関する知識を学ぶ環境を整え、事故の再発防止及び事故発生数の減少に努めた。
- ・ 昨年度よりうさみの園では身体拘束0を維持しているが、本年度も毎月開催の身体拘束廃止委員会及び施設内部研修において、改正した「身体拘束廃止マニュアル」を用いて身体拘束に関する知識を学ぶ環境を整え、身体拘束廃止の継続に努めた。

## (3) 会議・委員会活動

ショートステイ・デイサービス等、併設各事業と協働で委員会活動を行い、それぞれの利用者様の安全かつ快適な生活に向けた様々な取り組みを行った。

### ① 管理運営会議(毎週月曜日)

基幹職員が出席し、週間の業務予定及び検討事項の協議を行った。

### ② 職員全体会議(4月・10月・1月)

全職員参加により施設長の講話、情報伝達・業務の周知を行った。

### ③ 防災管理委員会(随時)

災害に備え、災害対策を見直し、防災訓練の計画・実施を行った。

### ④ 労働安全衛生委員会(第3水曜日)

職員の健康・安全・衛生・環境について、協議し改善に向けた取り組みを行った。また、ユニット単位の清掃活動を指導・促進させた。

### ⑤ 感染症対策委員会(第1火曜日)

インフルエンザ予防対策として、職員・面会者のマスク着用・手指消毒を徹底することにより、外部からのウィルスの侵入防止に努めた。その他、感染症発生時期に合わせて内部研修を実施し、食中毒等感染症の予防対策として、手洗いや各所の清掃についての勉強会を実施し、感染症の発生防止に役立てた。

### ⑥ 介護事故防止委員会(随時)

本年度は、利用者様の右肩の皮下出血受傷に関する事故、異食に関する事故の2件において、事故の原因分析及び改善策の検討を実施した。

⑦ リスクマネジメント委員会(第 4 木曜日)

本年度改正した事故防止マニュアル及び事故対策報告書の徹底を行った。また、毎月発生した事故に対して、個別に原因及び予防対策が適正であるかの検討を行った。

⑧ 身体拘束廃止委員会(第 4 木曜日)

昨年度に引き続きフィジカル及びドラッグに関する拘束は年間通して目標のゼロを達成することが出来た。スピーチロックに関しては減少傾向にあるが、廃止までには至らなかった。

⑨ 給食委員会(第 2 火曜日)

栄養士が中心となって、嗜好調査の結果に基づく献立や給食内容の検討、配膳・下膳についての工夫、食中毒・ノロウィルスの予防対策等についての検討を行った。

⑩ 栄養委員会(第 3 水曜日)

本年度は、厨房の備品が頻回に故障した案件を主とした適正な厨房の運営・衛生管理等について協議した。

⑪ イベント委員会(随時)

利用者様へのサービス向上のため、年間行事の計画及び実施に取り組んだ。

⑫ 編集(広報)委員会(随時)

広報誌発行の編集及び校正等を行い、広報誌「うさみの園だより」を刊行した。

⑬ 排泄委員会(第 2 水曜日)

本年度は、褥瘡予防の観点から個別ケアにおける排泄介助について、委員会を中心に外部アドバイザーの意見も取り入れて、内部研修・ユニット会議等で学習する機会を作った。

⑭ リネン委員会(随時)

利用者様に快適な睡眠を提供できるよう、適切なベッドメイクの徹底を行った。

⑮ 優先入所検討委員会(6 月、12 月)

第三者委員 2 名を含む入所検討委員会を、半期毎(6 月、12 月)に開催した。優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。平成 28 年度の新規入所者は 21 名で、空所期間は平均 4 日に抑えることができた。

#### (4) 実施事項

##### ① 年間行事

平成 28 年度に行った主な行事は次の通り。

4 月	イチゴ狩り、筍掘り、ふき取り
5 月	うさみの園まつり
6 月	
7 月	七夕まつり
8 月	花火大会
9 月	敬老祝賀会、
10 月	ビンゴ大会、お菓子バイキング
11 月	運動会、そば打ち実演会、お菓子バイキング
12 月	クリスマス会
1 月	書初め、餅つき
2 月	節分まつり
3 月	ひなまつり

##### ② 健康管理

###### ア. 嘱託医回診

南あたま第一病院 ……毎週 1 回(金曜日)

###### イ. 歯科往診

石川歯科 ……適宜

###### ウ. 健康診断

入居者全員を対象に静岡県結核予防会にて9月に実施した。

#### (5) 職員資質の向上

##### ① 外部研修、内部研修

外部研修については、静岡県社会福祉協議会が主催する研修を中心として、年間研修計画に沿って受講することができた。

内部研修についても、感染症・リスクマネジメントを中心に年間計画に沿って実施することが出来た。

外部研修は、19 件 23 名が参加し、内部研修は 10 回 468 名が参加した。

② 新人教育

4月1日付で採用した新入職員及び、経験の浅い中途採用職員に対し、法人・施設の位置づけ、事業内容、各事業の関連性、接遇等についての新人研修を行った。

(6) 連絡会議等への参加

① 伊東市介護事業者連絡協議会(年4回)

伊東圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わっている職員との情報交換の場として参加し、介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等についての情報収集により、業務改善に役立てた。

② 給食協会(年2回)

伊東・熱海圏域の介護老人福祉施設等の栄養士を対象として開催している給食協会総会に参加し、献立や調理方法等について意見交換を行う事により、給食業務の改善に役立てた。

(7) 非常災害対策について

11月に消防署員・防災危機管理業者立会いのもと総合防災訓練(通報、初期消火、避難誘導、搬送訓練)を実施した。当施設の訓練内容について助言を受け、不適切な点について改めることができた。また、9月実施の夜間想定防災訓練でも、夜勤の要である総括担当の介護職員を中心とした訓練を実施することにより各職員の非常災害に対する意識改革を行った。

平成 28 年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4 月 25 日(月)	通報、初期消火、避難誘導訓練(巣雲 1・2 丁目対象)
5 月 30 日(月)	通報、初期消火、避難誘導訓練(巣雲 3・5 丁目対象)
6 月 28 日(火)	通報、初期消火、避難誘導訓練(天城 1・2 丁目対象)
7 月 29 日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練(天城 3・5 丁目対象)
8 月 29 日(月)	通報、初期消火、避難誘導訓練(天城 6 丁目対象)
9 月 6 日(火)	夜間防火管理体制に基づく検証 避難時間 13 分 59 秒
10 月 19 日(水)	通報、初期消火、避難誘導訓練(ショートステイ対象)
11 月 8 日(火)	総合防災訓練 消防職員・消防機器管理業者参加
12 月 12 日(月)	土砂災害を想定における1階から2階への垂直避難訓練
1 月 26 日(木)	土砂災害を想定した2階における避難検証 HUGゲーム
2 月 17 日(金)	土砂災害を想定した3階における避難検証 HUGゲーム
3 月 23 日(木)	通報、初期消火、避難誘導訓練(デイサービス対象)